

製品名: PPARG マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80659**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	PPARG
別名	CIMT1; NR1C3; PPARG1; PPARG2; PPARgamma; PPARG
遺伝子 ID	5468.0
SwissProt ID	P37231
免疫原	大腸菌で発現した PPARG (aa170-270) の精製された組み換え断片。

背景

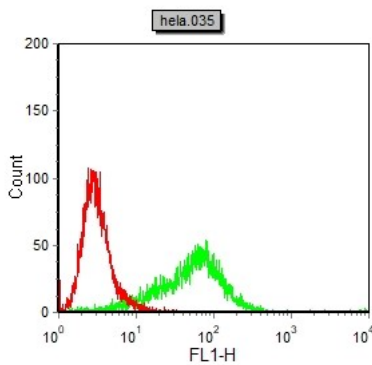
PPARG: ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体ガンマ。この遺伝子は、核内受容体のペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 (PPAR) サブファミリーのメンバーをコードします。PPAR はレチノイド X 受容体 (RXR) とヘテロダイマーを形成し、これらのへ

テロダイマーが様々な遺伝子の転写を制御します。PPARには、PPAR- α 、PPAR- δ 、PPAR- γ の3つのサブタイプが知られています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はPPAR- γ であり、脂肪細胞分化の調節因子です。さらに、PPAR- γ は、肥満、糖尿病、動脈硬化、癌など、多くの疾患の病態に関与していることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

研究分野

-

画像データ



PPARG マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。